



平成 25 年 10 月 31 日

各 位

会 社 名 オリコン株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 小池 恒  
(東証 JASDAQ コード番号 4800)  
問 い 合 わ せ 先 執行役員企業広報部長 日高輝明  
T E L 03-3405-5252 (代表)

## 当社連結子会社（オリコン・エナジー株式会社）の資本業務提携に関するお知らせ

当社の連結子会社であるオリコン・エナジー株式会社（代表取締役社長：二宮貞治、本社：東京都港区、以下「オリコン・エナジー」という。）は、平成 25 年 10 月 31 日開催の取締役会において、東北大学名誉教授小濱泰昭氏が設立したベンチャー企業である株式会社 S toM 株式会社（代表取締役社長：小濱泰昭、本社：宮崎県日向市、以下「S toM 社」という。）と資本業務提携（以下「本資本業務提携」という。）を行うことを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 本資本業務提携の理由と内容

当社は、CSR 活動の一環として太陽光発電事業を開始し、当社グループにおいてオリコン・エナジーが当該事業を担っています。オリコン・エナジーは、長崎県大村市で太陽光発電所を運営しており、平成 25 年 7 月より、九州電力株式会社に売電を開始いたしました。

オリコン・エナジーでは、政府が目指している電力の自由化を睨み、再生可能エネルギーの分野で有望と考えられる優れた技術や製品の開発に経営資源を投入するなど、当該分野において、さらに踏み込んだ事業展開を図っていくことにいたしました。すでに、安定的に売電収入が得られていますので、売電によって生じるキャッシュ・フローの範囲内で、産学連携による研究開発や他社との協業などを進めていく方針です。

今回、その第一弾として、マグネシウム発電の研究者である東北大学名誉教授小濱泰昭氏が設立した S toM 社と提携し、マグネシウム関連製品の製品化と知的財産の創出を協同で行っていくことにいたしました。小濱氏は、海水中など地球上に無尽蔵にあるマグネシウムを太陽光によって製錬し、得られたマグネシウムを燃料電池として活用することで、CO<sub>2</sub>排出の削減とエネルギー循環型社会の実現を目指しています。すでに、マグネシウム燃料電池を搭載した電動バイクで長距離の運転実験を行うなど、多くの業績を上げられており、東北大学の退官を機に S toM 社の代表取締役に就任した後、宮崎県日向市を拠点にして研究開発を進められています。小濱氏の取り組みは、クリーンで持続可能なエネルギーサイクルを実現させたいというオリコン・エナジーのビジョンと一致するものであり、今回、S toM 社とオリコン・エナジーが業務提携し、社会的に価値の高いマグネシウム関連製品の早期の実用化を目指していくことにいたしました。

また、今回の業務提携を強固で継続的なものにするため、S toM 社が行う第三者割当増資をオリコン・エナジーが引き受けることにいたしました。

#### 2. 新たに取得する相手方の株式の状況

- ・株式取得前の所有株式数 0 株
- ・取得株式数 230 株
- ・取得価額 1,012 万円
- ・株式取得後の株主構成 小濱泰昭 89.7%、オリコン・エナジー 10.3%

#### 3. 相手方に新たに取得される株式の数及び発行済株式数に対する割合

本資本業務提携に伴い、新たに取得される株式はありません。

#### 4. StoM社の概要（平成25年10月31日現在）

- |               |                                |
|---------------|--------------------------------|
| (1) 商号        | 株式会社StoM（カブシキガイシャ エスツーエム）（※）   |
| (2) 本店所在地     | 宮崎県日向市船場町1番地1                  |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長・小濱泰昭（平成25年10月23日就任）    |
| (4) 主な事業内容    | マグネシウム発電技術等に関する研究開発、知的財産の管理・運営 |
| (5) 資本金       | 25万円                           |
| (6) 設立年月日     | 平成25年6月14日                     |
| (7) 株主構成      | 小濱泰昭 100%                      |

#### 5. オリコン・エナジーの概要（平成25年10月31日現在）

- |               |   |
|---------------|---|
| (1) 商号        | オリコン・エナジー株式会社                                   |
| (2) 本店所在地     | 東京都港区六本木六丁目8番10号                                |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長・二宮貞治                                    |
| (4) 主な事業内容    | 太陽光発電事業、エネルギー関連技術の研究開発、知的財産の管理・運営               |
| (5) 資本金       | 155百万円  |
| (6) 設立年月日     | 平成18年12月1日<br>(平成25年1月11日付でORWI株式会社より商号及び定款を変更) |
| (7) 株主構成      | オリコン株式会社 100%                                   |

#### 6. 日程

- |             |                 |
|-------------|-----------------|
| 平成25年10月31日 | オリコン・エナジー取締役会決議 |
| 平成25年11月1日  | 本資本業務提携契約締結     |
| 平成25年11月5日  | 払込期日            |

#### 7. 今後の見通し

本件が平成26年3月期の当社の連結業績に与える影響は軽微であると考えております。今後、開示すべき重要な事象が発生した場合には、当該情報について速やかに開示いたします。

#### ※ご参考

StoM社のStoMは、Sun（太陽）to Mg（マグネシウム）を意味しており、小濱氏が推進するマグネシウム・ソレイユ（太陽エネルギー）プロジェクト（以下、「当プロジェクト」という。）の実現の願いを込めて命名されたものです。

砂漠太陽光のエネルギー密度は、ほぼ3kW/m<sup>2</sup>であり、日本の3倍、日射量ではおよそ7.5倍にも達しています。このことから、日本の全消費エネルギーをおよそ120km四方の砂漠に注がれている太陽エネルギーで賄えることが導き出されますが、問題はエネルギーの輸送方法です。当プロジェクトは、地球上にほとんど無尽蔵に存在するマグネシウムを太陽エネルギーのキャリア物質として利用することによって、この問題を解決させようとする取り組みです。具体的には、臨海砂漠地帯でマグネシウムを精錬して太陽エネルギーを封じ込めた上で日本へ海上運搬し、国内でマグネシウム燃料発電によって電気エネルギーや熱エネルギーを発生させます。当プロジェクトに関わる技術は、東北大学が実績を有する集光式太陽炉をベースとした概念に基づいており、現在、世界中で一般的に用いられているマグネシウム製錬方法の一つであるピジョン法における熱源を石炭ガス燃焼熱から太陽熱に置き換えたただけですので、小濱氏は、効率的かつ経済的に当プロジェクトの成立性が高いと判断されています。

以上